

2020年度

音 楽

(解答はすべて解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。

同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

| | | | | | | | |
|----------|---|---|---|---|---|--------|--|
| 受験 番号 | ： | ： | ： | ： | ： | 氏 名 | |
|----------|---|---|---|---|---|--------|--|

【問1】 放送を聴きながら答えなさい。

- (1) 旋律の聴き取りです。演奏は3回繰り返します。聴き取った旋律を楽譜に書きなさい。
- (2) リズムの聴き取りです。演奏は3回繰り返します。聴き取ったリズムを楽譜に書きなさい。
- (3) 和音の聴き取りです。演奏は2回繰り返します。[] に当てはまる音を聴き取り、音符を書きなさい。

【問2】 放送を聴きながら答えなさい。

(1) Aの曲を聴いて答えなさい。

- ① この曲で用いられている発声法の名称を書きなさい。
- ② 次の文は、この曲で用いられている発声法を説明したものである。文中の [a] と [b] に当てはまる数字や語句を、下の選択肢から選び、記号を書きなさい。

一人の演奏者が同時に [a] 種類の声を発声する技法。主に [b] に伝わる独特の歌唱法である。

選択肢 [ア 2 イ 3 ウ 4 エ モンゴル オ ブラジル カ オーストラリア]

(2) Bの曲を聴いて答えなさい。

- ① この曲を作曲した作曲者のフルネームをカタカナで書きなさい。
- ② この曲は何の楽器で演奏されているか、楽器の名称を書きなさい。
- ③ 次のア～エの文で誤っているものを一つ選び、記号を書きなさい。

- | | |
|---|--|
| ア | フーガは、イタリア語で「遁走曲」の意味がある。 |
| イ | フーガは、主題に基づく二つあるいはそれ以上の声部から成る対位法的技法を用いて作曲されている。 |
| ウ | 主題が二つ以上あるフーガはない。 |
| エ | この曲の作曲者が作曲した「平均律クラヴィーア曲集」には、フーガの作曲技法が用いられている。 |

(3) Cの曲を聴いて答えなさい。

- ① この曲に用いられている音階を次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。
[ア 都節音階 イ 律音階 ウ 民謡音階 エ 沖縄音階 (琉球音階)]
- ② この曲が生まれた背景を踏まえたとき、この曲は次のア～エのどれに分類されるか、記号を書きなさい。
[ア 労作歌 (働くときに歌うもの) イ 祭歌・祝い歌 (盆踊りや神事の際にうたうもの)]
[ウ 座興歌 (宴会の席などで歌うもの) エ 子守歌 (子守をするときに歌うもの)]

(4) Dの曲を聴いて答えなさい。

- ① これはある曲の一部分である。この曲を含む連作交響詩の作品名と作曲者名を書きなさい。
- ② この部分につけられている標題を次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。
[ア 月の光、水の精の踊り (Mondschein-Nymphenreigen) イ 森の狩猟 (Wälder-Jagd)]
[ウ 村の結婚式 (Ländliche Hochzeit) エ 聖ヨハネの急流 (St. Johann-Stromschnellen)]
- ③ この曲の作曲者が作曲した他の作品を次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。
[ア アランフェス協奏曲 イ 弦楽四重奏曲「皇帝」 ウ オペラ「売られた花嫁」]
[エ 舞踏組曲「ガイーヌ」]

(5) Eの曲を聴いて答えなさい。

- ① 人形浄瑠璃義太夫節の創始者である竹本義太夫が生存していた同時期の作曲家を次のア～エから一人選び、記号を書きなさい。
[ア モンテヴェルディ イ パッヘルベル ウ ハイドン エ メンデルスゾーン]
- ② 人形浄瑠璃の劇場として竹本義太夫が「竹本座」を創設した場所はどこか、現在の都道府県名を書きなさい。
- ③ 文楽で用いる人形を三人遣いで操作するとき、首 (かしら) と右手を担当する人形遣いを何と呼ぶか書きなさい。

(6) Fの曲を聴いて答えなさい。

- ① この曲の冒頭で主旋律を演奏している楽器の名称を書きなさい。
- ② この曲の楽曲名と作曲者名を書きなさい。

(7) D～Fの作品を、作曲された年の古いほうから順に並べ、左から記号を書きなさい。

〔問3〕 次の問いに答えなさい。

(1) 尺八について答えなさい。

① 尺八の標準の長さとして正しいものを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

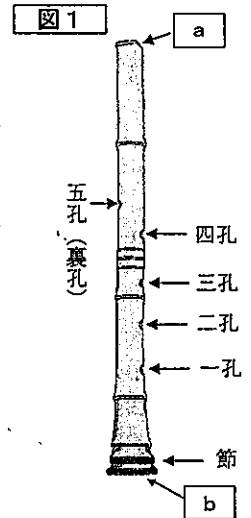
[ア 八尺八寸 イ 一尺八寸 ウ 八尺一寸 エ 一尺一寸]

② 図1の a と b の部分の名称をそれぞれ書きなさい。

③ 次の [] 内は、尺八の奏法である「メリ」について説明したものである。文中の c と d に入る語句を、下の語群から選び、記号を書きなさい。

[図1 の a に顎を当て、顎を c 音高を d 奏法]

語群 [ア 引いて イ 突き出して ウ 動かさず エ 下げる
 オ 上げる カ 変えない]



(2) 三味線について答えなさい。

① 次のア～ウは、三味線の奏法について説明したものである。正しいものは○、誤っているものは×を書きなさい。

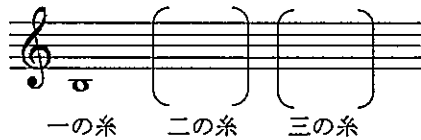
ア 「スクイ」は、撥を下から弦に当ててすくい上げる奏法のこと。

イ 「打ち(打ち)」は、左手の指でサワリに触れる奏法のこと。

ウ 「ハジキ」は、撥を使わずに左手の指で糸をはじいて音を出す奏法のこと。

② 三味線の音高を決めるために、指で弦を押さえるポジションのことを何と書くか書きなさい。

③ 「三下り」と呼ばれる調弦法における、二の糸、三の糸の音高を全音符で楽譜に記入しなさい。



(3) 下のア～ウは、日本の伝統音楽で用いられる楽器の楽譜の一部である。それぞれの楽譜で演奏する楽器の名称を書きなさい。

(4) 次の楽譜は『グリーンズリーヴス』の一部である。この曲を歌唱教材として扱いたい。生徒の実態に合った音域で歌えるように、長3度上げた楽譜を作成しなさい。その際、正しい調号を記入したうえで臨時記号を用いること。

【問4】 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の文章は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月)第2章 第5節 音楽の一部である。本文に即して、～に適切な語句を書きなさい。

第1 目 標 (略)

第2 各学年の目標及び内容

〔第1学年〕 (略)

〔第2学年及び第3学年〕

1 目 標 (略)

2 内 容

A 表 現

(1) (略)

(2) (略)

(3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、のある創作表現を すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて すること。

(ア) 音階や などの特徴及び音のつながり方の特徴

(イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、、対照などの構成上の特徴

ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、や条件に沿った音の選択や などの を身に付けること。

(以下略)

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) (略)

(2) (略)

(3) 第2の各学年の内容の〔〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること。

(以下略)

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア (略)

イ 音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価などを伝え合い共感するなど、音や音楽及び言葉による を図り、音楽科の特質に応じた を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。

(以下略)

- (2) 「中学校学習指導要領」(平成29年3月)第2章 第5節 音楽 の第3 2(2)ア(ウ)に示されている共通教材から、任意の1曲を選び、その楽曲名と作曲者名を正しく書きなさい。

- (3) 次の楽譜は「七つの子」の旋律の一部である。この楽譜を、アルトリコーダー三重奏ができるように編曲しなさい。ただし以下の条件①～条件④をすべて満たすこと。

条件① すべてのパートに2小節以上の主旋律がある。

条件② 拍子及び小節数は変更しない。

条件③ 楽譜に指定されたコード進行を用いる。

条件④ アルトリコーダーで演奏可能な音域とする。